

日本の農業経営についてあなたと一緒に考えたい

# Paddy

【パディ】2015 夏号 vol.53

BASFは今年創立150周年を迎えました。

150 years

 **BASF**

We create chemistry



**収益アップをとことん追求。  
万能に使える殺虫剤として、  
カスケードは重宝しています。**



茨城県東茨城郡 関岡 秀一さん(33歳)

茨城町は、茨城県のほぼ中央に位置し、  
水戸市の南に隣接する田園都市です。  
今回は、JA水戸管内の中でも園芸が盛んな  
茨城地区で野菜づくりに勤しむ若き生産者、  
関岡秀一さんを訪問。カスケード乳剤が害虫防除で  
どのようにお役に立っているかをお聞きました。



**作業の効率性にこだわりながら、  
高品質な作物づくりに励む。**

生産者として歩み始めて3年目になる関岡さん。長さ100mを超える長大なハウスを全部で26棟、露地もあわせれば22haにもなる圃場を引き継ぎました。そのうち約1haの規模で、ほつれんそうこまつなを年間4〜5作。85歳になる祖父母から収穫作業の手伝いを受けつつ、栽培管理や薬剤散布、袋詰めから出荷、機械のメンテナンスに至るまで、アルバイト従業員とともに作業を行っています。

「人手が足りない状況のなか、これまでがむしやらにやってきました。色々な作業に追われる毎日ですが、収益アップにはとことんこだわりたい」と話す関岡さん。高品質な作物を作り、消費者の元にたくさん届けることができれば、それが良い結果として自分に返ってくる。そう考えたのもと、いかに効率良く作業を進められるかを意識していると言います。

そんな関岡さんの、作物を見つめる

まなざしは真剣そのもの。「収穫したほつれんそうこまつなは、重さを量って一定に揃えながら自動包装機で袋詰めをして出荷するのですが、その際に虫食いの葉がないかもチェックしていくんです。買っていたく方の口に入るものですから、自分の目で最後まで確認しておきたいのです。葉物野菜は特に、味はもちろん、見た目の美しさも大事。綺麗なものを作るためには、害虫被害を放っておけません。葉に穴を空けられないよう、対策はしっかりとっています」。

**効果も、使いやすさも、コストも、  
満足できる一剤です。**

効率性を重視する関岡さんにとってカスケード乳剤は、ローテーションで使用する薬剤の中でも大切な一剤。「カスケードを使うと、害虫の発生程度が全然ちがう。良い仕事をしてくれます。ほつれんそうこまつではハスモンヨトウやシロオビノメイガ、ハモグリバエ類やダニ類。こまつなではコナガ、アオムシ、マメハモグリバエなど、幅広く

い種類の害虫をまとめて防いでくれる上に、ほつれんそうこまつでは4,000倍の高希釈で使える点も良いですね。薬剤コストを抑えられますし、薄くていいから薬害の心配もなく、安心して使えます。とにかく農業は効き目が大事。カスケードには効果、使いやすさ、コスト、すべての面で満足しています。収穫が迫った時期でも使えるので重宝しています」。



**多彩な作物に登録。  
性能の良い殺虫剤として、  
幅広く活用しています。**

「JA南部宮農地区は、農業に適した温暖な気候と都心へのアクセスのしやすさも手伝って、JA水戸管内では野菜づくりが一番盛んな地。ほつれんそうこまつな、メロン、いちじく、にら、トマト、ばれいしょ、とうもろこしなど多彩で

す」と胸をはるのは、JA水戸の齋藤さん。入所以来20年以上、茨城町の営農指導員を務めていらっしゃいます。

「都市近郊型農業の茨城野菜が首都圏のスーパーに当たり前のようにながら、それを支える生産者の苦労があつてこそ。管内では生産者の高齢化が進んできていて、関岡君のように若くして頑張っている方の力に少しでもなれば良いと思います」。

そう語る齋藤さんに、カスケードについてお聞きしました。「カスケードは昔から生産者の皆さんに愛用されています。長く使われているが、抵抗性が多く、性能の良い薬剤ですので、ほつれんそうこまつな、メロン、トマトなど、管内の防除指導で幅広く活用させてもらっています」と、頼もしいお言葉をいただきました。



JA水戸 南部宮農材センター 営農相談員 齋藤 幸一さん(45歳)



# 佐賀のたまねぎ作りに役立つ シグナムのシャープな効き目。 これからも期待しています。



佐賀県鹿島市 北村 高広さん(50歳)

たまねぎ生産量が北海道に次いで全国2位の佐賀県。  
ミネラル豊富な有明海沿岸の干拓地で育てられる  
佐賀産のたまねぎは、春の訪れを告げる極早生の  
新たまねぎを皮切りに、秋まで出荷されます。  
今回はJAさが・みどり地区管内、鹿島市にお住まいの  
元・JAさが野菜担当指導員、北村高広さんを訪問。  
シグナムWDGについてお話をうかがってきました。



## 野菜づくりに愛情をもち、 地元の農業のチカラになる。

北村さんは、JAさがの前身となる鹿島市農協によって野菜の専門部署が新設されて以来、およそ30年の長きにわたって地元・鹿島の野菜づくりに携わってきたスペシャリスト。数年前に早期退職をし、現在は生産者として第二の人生を歩んでいらっしゃいます。また、直売所出荷者向けの講習会に講師として招かれるなど、培ってきた知識を請われる機会も多いと言います。

「野菜がとにかく好き」と話す笑顔が印象的な北村さんが手がける野菜は、実に多彩。露地には、たまねぎ、ブロッコリー、スイートコーンが。そしてハウスには、ごまつな、ほうれんそう、きゅうり、スナップえんどう等が畝を隔てて整然と植えられており、この後もばれいしょ、つくねいも、しゅんぎく、すいかなど様々な野菜を栽培することとのこと。さらには、白いきゅうりやオクラ、自然薯、アピオス(ほどういも)など、珍しい作物の栽培にも意欲的です。

的に取り組んでいらっしゃいます。「新しいものが好きなので、作りたい野菜はまだたくさんあります。JAに勤めていた時は農家さんからの質問に何でも答えられないといけませんから、年がら年中、野菜や農業のことばかり考えていました。家では毎晩それらのカタログに囲まれて寝ていたくらいです」と笑います。

## 使う人のために、確かな情報を。 薬剤の性能を、徹底的に分析。

シグナムWDGは現在、JAさが・みどり地区のたまねぎの防除暦に2月のべと病予防で採用されています。北村さんはJA勤務時代、新剤として登場したシグナムの効果を吟味し、防除暦への採用を検討する立場でした。当時を振り返っていただきました。

「新剤は情報が命。良いと思って人に勧めるからには、その性能を深く理解し、きちんと理由を説明できなければいけません」と北村さん。新剤検討の際は技術資料をとりよせるなど、情

報をすべて集約し、有効成分の系統を一覧化。独自に「比較表」を作成し、試験をくり返していたと言います。

「分析が大好きなんです。例えば、これは『ストロビルリン系』のピラクロストロビンと『カルボキサミド系』のボスカリドを混合した殺菌剤だねと。そうして分類していったら、じゃあこの系統の剤と効果を比較しようとか、どれと一緒に使えば相性がいいのかなとか、一つひとつ検証していくんです」。

## シャープな効き目が印象的で、 病害を抑える力に優れる。

北村さんは、「シグナムのシャープな効き目が印象的だった」と評します。たまねぎで発生すると病、灰色かび病、灰色腐敗病、小菌核病など、「糸状菌類」が引き起こす幅広い病害に優れた防除効果を発揮したのだと言います。

「たまねぎは、葉でつくられた養分が地中の球に届けられることでだんだん成長し、肥大していきます。そのタイミングで葉が病気に侵されてしまうと、良いたまねぎは出来ません。シグナムは感染を予防する力が強い



そのうち、複数の生産者に圃場でのテスト使用を依頼。良好な結果が得られたことにより、シグナムは防除暦に採用されました。北村さんの退職後、JAさが・みどり地区では、同じくたまねぎ防除暦に「ザンプロDMフロアブル」も採用。さらには、畑作用除草剤「モーティブ乳剤」の試験も実施していただいています。「シグナム、ザンプロ、モーティブと、BASFさんの薬剤には今後も期待しています」。お話の最後に、北村さんから熱いエールをいただきました。





## 栄養豊富な緑黄色野菜 ホウレンソウ

ホウレンソウといえば旬が冬の野菜ですが、今では一年中出まわり、私たちの生活には欠かせない野菜のひとつとなっています。以前はアクが強く、加熱しなければ食べられないイメージでしたが、今はサラダほうれん草、赤茎ほうれん草など、アクが少なく生でも食べられる品種が多く出回っています。

ホウレンソウは栄養豊富。特に貧血気味の方にはオススメ。鉄分が多く含まれるだけでなく、鉄の吸収をアップと言われるビタミンC、そして造血を促すビタミンB群、葉酸が多く含まれます。葉酸は胎児の発育には必要な栄養素です。妊娠中の女性は特に意識してホウレンソウを摂るとよいでしょう。

## 玉ねぎで血液サラサラ、 疲労回復

東西に長い日本。栽培方法の多様化と産地リレーがあいまって、玉ねぎも一年中食べることができますね。初夏に登場する新玉ねぎは肉質がやわらかく、甘みも強めで、みずみずしくて、サッと水にさらしオニオンスライスとしてもおいしく食べられます。

血液がサラサラになると評判の玉ねぎですが、その秘密は独特の香りと辛味の原因、硫化アリルにあります。包丁でカットしたときに目が痛くなる原因もこの成分。ビタミンB1の吸収を高め新陳代謝を活発にし、疲労回復やイライラ解消、殺菌作用があり風邪予防にも効果があるとされるため、ビタミンB1を含む豚肉やうなぎなどと一緒に料理をすると効果的。水にさらしすぎるとせっかくの栄養素が流れ出てしまいますので要注意です。



「YUISAI」の活動内容はこちらをご覧ください。  
<https://www.facebook.com/vege.fru.yuisai>

## ホウレンソウと玉ねぎの ワンプレート

ホウレンソウは玉ねぎとジャガイモと合わせてポタージュスープに。ポイントはホウレンソウに火を通しすぎないこと。夏は冷やしても美味しくいただけます。玉ねぎのフォカッチャは玉ねぎをザクザクいれて練りこんで焼き上げたパン。お好みでオリーブオイルにつけながらいただきます。付け合わせに生でもいただける赤茎ほうれん草を添えて。

食欲がなくなりがちなこの時期はホウレンソウで栄養補給、玉ねぎで疲労回復してみたいはいかがでしょうか。



## 製品情報

## 野菜をさまざまな病害から守る!

2つの有効成分が優れた予防効果と持続性を発揮



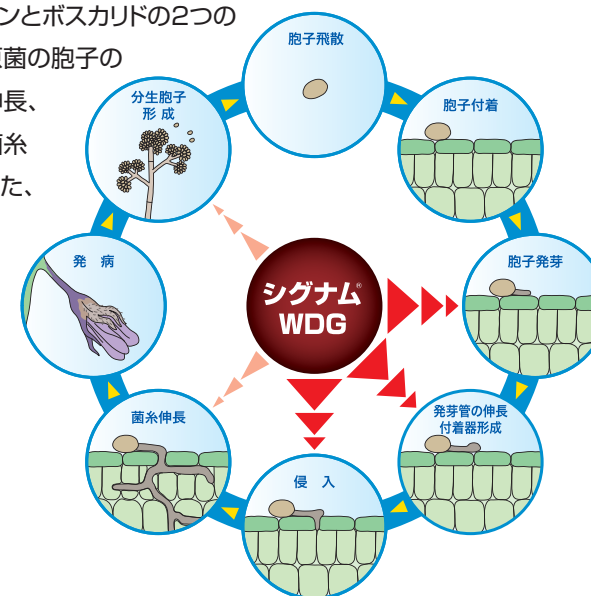
# シグナム® WDG

特  
長

- 様々な野菜の広範囲な病害に効く
- 浸透性で持続効果も長い
- 感染前から発芽初期の予防的散布で優れた効果

### ■作用点

ピラクロストロビンとボスカリドの2つの有効成分が、病原菌の胞子の発芽、発芽管の伸長、付着器の形成、菌糸の侵入を阻害、また、菌糸伸長や分生胞子形成を抑制します。



### ■適用作物・適用病害一覧

| 作物名    | 適用病害名                  |
|--------|------------------------|
| ブロッコリー | 菌核病、べと病                |
| にんじん   | 黒葉枯病、うどんこ病             |
| たまねぎ   | 灰色腐敗病、灰色かび病、べと病、小菌核病   |
| キャベツ   | 菌核病、株腐病、べと病            |
| はくさい   | 菌核病、黒斑病、白斑病、べと病、白さび病   |
| なす     | 菌核病、灰色かび病、うどんこ病、すすかび病  |
| すいか    | うどんこ病、炭疽病、つる枯病、菌核病     |
| かぼちゃ   | うどんこ病                  |
| にんにく   | さび病、白斑葉枯病、黄斑病、葉枯病      |
| レタス    | 灰色かび病、菌核病、すそ枯病、べと病     |
| 非結球レタス | 灰色かび病、菌核病、すそ枯病、べと病     |
| いちご    | うどんこ病、炭疽病、灰色かび病        |
| トマト    | 葉かび病、灰色かび病、すすかび病、うどんこ病 |
| ミニトマト  | 葉かび病、灰色かび病、すすかび病、うどんこ病 |
| ピーマン   | うどんこ病、炭疽病、黒枯病          |
| ししとう   | うどんこ病、炭疽病、黒枯病          |

適用内容の詳細はwebサイトをご覧ください。  
<http://www.agriculture.japan.basf.com>

## 読者プレゼント

### 手作りにこだわる、有田焼の人気ブランド 青花の小皿セットを2名様にプレゼント!

今号のユーザーズボイスの取材先・佐賀県は、焼き物でも有名です。その中でも陶磁器ファンの心を引き付けてやまない有田焼の染付。今回は、「手づくり、手描き」を守り、有田の古陶磁の味わいやユニークで温もりのある器を藍と白の染付で表現する、しん窯のブランド「青花」の絵変り舟形小付揃い5枚セットをプレゼント。絵柄は代表的な異人とオランダ船を絵変りで5種類描いてあります。薬味入れや、一品料理入れとしても最適。たくさんのご応募お待ちしております。

■応募方法: 官製ハガキに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、職業、栽培作物、Paddyへのご意見・ご感想、希望賞品をお書きの上、下記宛先までご応募ください。FAXでもご応募頂けます。なお当選発表は賞品の発送をもって替えさせていただきます。 FAX番号: 03-3796-9419  
〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー21階 BASFジャパン株式会社 農業事業部 Paddyプレゼント係

※個人情報、弊社の個人情報保護規定に従い厳重に管理いたします。第三者への開示・譲渡・貸与などは行いません。

締切:平成27年8月15日  
当日消印まで有効





# くりまき山車まつり



日本人として決して忘れることのない東日本大震災。あの日から、復興に向けて歩んでいく東北の人たちの力強い姿に、逆に勇気づけられた人も多いはず。今回訪れた宮城県北西部、栗駒山の麓に広がる栗原市も2011年3月11日の震度7を記録した。それでも4ヶ月後、7月には例年どおり約300年、守り続けてきた祭りを開催したと聞く。それが「くりこま山車まつり」だ。この祭りが行われる栗駒岩ヶ崎地区は江戸時代、伊達正宗が納める伊達藩北域の要衝の地で、昔から稲作が盛んだった。五穀豊穡を願い、農事の慰安として領民が「丸」となつて行われた「新田の早苗振り」が祭りの起源といわれている。祭りの主役として、多くの人々の目を惹きつけるのが絢爛豪華な山車だ。江戸時代は「力所」に固定された「置き山」だったが、後に人々にかつがれ「かつぎ山」と称されるようになり、昭和から平成に入ってから曳山になった。

地区ごとに手作りで制作し、歴史や物語の場面を人形や装飾で華やかに再現している。9地区すべてのテーマが違い、義経伝説が残る土地柄から義経が登場する地区、栗駒の史実が得意な地区、大河ドラマを題材にする地区まである。実際に見ると、その完成度の高さに驚きを隠せない。しかも見ているうちに、その場面に引き込まれ、自分までもが登場人物のひとりになったような気持ちに浸れるのも、この祭りの醍醐味のひとつだ。1日目、日が暮れると山車に明かりが灯り、町内を練り歩く「夜間山車巡行」が始まる。薄闇のなかにライトアップによって浮かび上がる山車は、とにかく幻想的で美しい。2日目の昼間に行われる「山車巡行」では、背景の桜や波も含め色彩の鮮やかさに目を奪われるだろう。そして何と言っても素晴らしいのは、子供たちの威勢のよい掛け声とお囃子の音色だ。一糸乱れぬ見事な演奏を聞いていると東北の人ならではの力強さ、一丸となつて地元を守り抜いていこうという気持ちがひしひしと伝わってくる。



▲実行委員会 委員長 佐藤さん



「パディ」はBASFジャパンが皆様とのよりよいコミュニケーションのために作成し、無料で配布している情報誌です。農業技術や農業製品についての情報の提供や、実際に製品をお使いいただいている生産者の方々をご紹介するなど、皆様のお役に立つ内容とするよう努力を続けてまいります。